

2026年3月期 第2四半期 決算説明会

2025年11月10日

証券コード:5463



丸一鋼管株式会社

I. 決算ハイライト

II. 2026年3月期 第2四半期実績

III. 足元の事業環境認識

IV. 2026年3月期 業績見通しの修正

<参考> 業績詳細データ等

I. 決算ハイライト

■2026年3月期上期実績

- 連結営業利益は、米国の回復が寄与し前年同期比で増益(+18.6%)
- 期初計画比では、北米が上振れ(+8.2億円)したものの、国内が未達(▲11.0億円)、アジアも若干の未達となり全体では若干未達となったが、経常利益・中間純利益は上振れして着地
- 丸一鋼管単体営業利益は、販売数量が前年同期比で減少(▲2.1%)するもスプレッドの改善により増益(+6.0%)

■2026年3月期連結通期計画

- 2026年3月期の連結通期計画を修正
- 修正計画は、売上高、営業利益共に期初計画比では下方修正となるものの、営業利益は前年度実績比で+95億円を予想
- 当期純利益は、期初計画より12億円の減額修正となるが、配当額は前回公表額を維持(配当性向45.7%)

Ⅱ. 2026年3月期第2四半期実績

(単位:百万円)

連結	25/3 上期実績 (a)	26/3 上期実績 (b)	前年同期 増減額 (b-a)	前年同期比 (%) (b/a-1)	26/3 上期計画 (c)	計画比 (%) (b/c-1)	概要
減収 売上高	133,506	120,539	-12,967	-9.7%	127,300	-5.3%	・売上高は、日本▲6.9%・北米▲5.6%・アジア▲22.1%ともに減収 ・日本は、単体が販売数量の減少(▲2.1%)および販売単価の下落により減収(▲6.9%)。また丸ーステンレス鋼管も減収(▲4.8%) ・北米は、販売数量が増加(+2.9%)したものの販売単価は前年度の水準には届かず減収。MACのみ増収(+6.0%)を確保 ・アジアは、KUMA(インド)・MPST(フィリピン)が販売数量を伸ばしたが、SUNSCO(ベトナム)の大幅な販売数量の減少があり減収。MPSTは増収(+10.5%)を確保
増益 営業利益	13,000	15,422	2,422	18.6%	15,700	-1.8%	・営業利益は、日本▲2.8億円、アジア▲6.0億円と減益になったものの北米の回復(+32.5億円)により増益 ・売上高営業利益率は12.8% (25/3上期は9.7%)
増益 経常利益	14,663	16,681	2,018	13.8%	16,600	0.5%	・営業外損益は、受取配当金の減少などから前年同期比4.0億円の悪化
増益 親会社株主に 帰属する 中間純利益	7,369	10,690	3,321	45.1%	10,200	4.8%	・特別損益は、投資有価証券評価損の発生はあったものの、前年同期実績には従業員に対する譲渡制限付株式の付与による特別損失の発生があったことから、前年同期比29.9億円の改善

* 計画は2025年5月9日開示

* 業績詳細データ等を参照

・対米ドル換算レートは1ドル148円60銭 (25/3上期は152円25銭)

(単位:百万円)

セグメント	25/3 上期実績 (a)	26/3 上期実績 (b)	前年同期 増減額 (b-a)	前年同期比 (%) (b/a-1)	26/3 上期計画 (c)	計画比 (%) (b/c-1)	概要
減益 日本	10,261	9,980	-280	-2.7%	11,084	-10.0%	・単体は販売数量が減少したものの、スプレッドの上昇により増益(+4.9億円)を確保 ・丸ステンレス鋼管はBA管の販売数量の低迷もあり大幅な減益(▲4.1億円)
増益 北米	105	3,360	3,255	3087.9% (31.9倍)	2,539	32.4%	・米国主要4社の回復により大幅増益 ・MMX(メキシコ)は微減益
減益 アジア	2,423	1,820	-603	-24.9%	1,833	-0.7%	・MPST(フィリピン)は微増益となったもののSUNSCO(ベトナム)が▲4.1億円、KUMA(インド)が▲2.0億円と減益
連結調整	210	259	49	—	244	—	
増益 合計	13,000	15,422	2,422	18.6%	15,700	-1.8%	

*計画は2025年5月9日開示

*業績詳細データ等を参照

個社別売上高・営業利益

O1×100

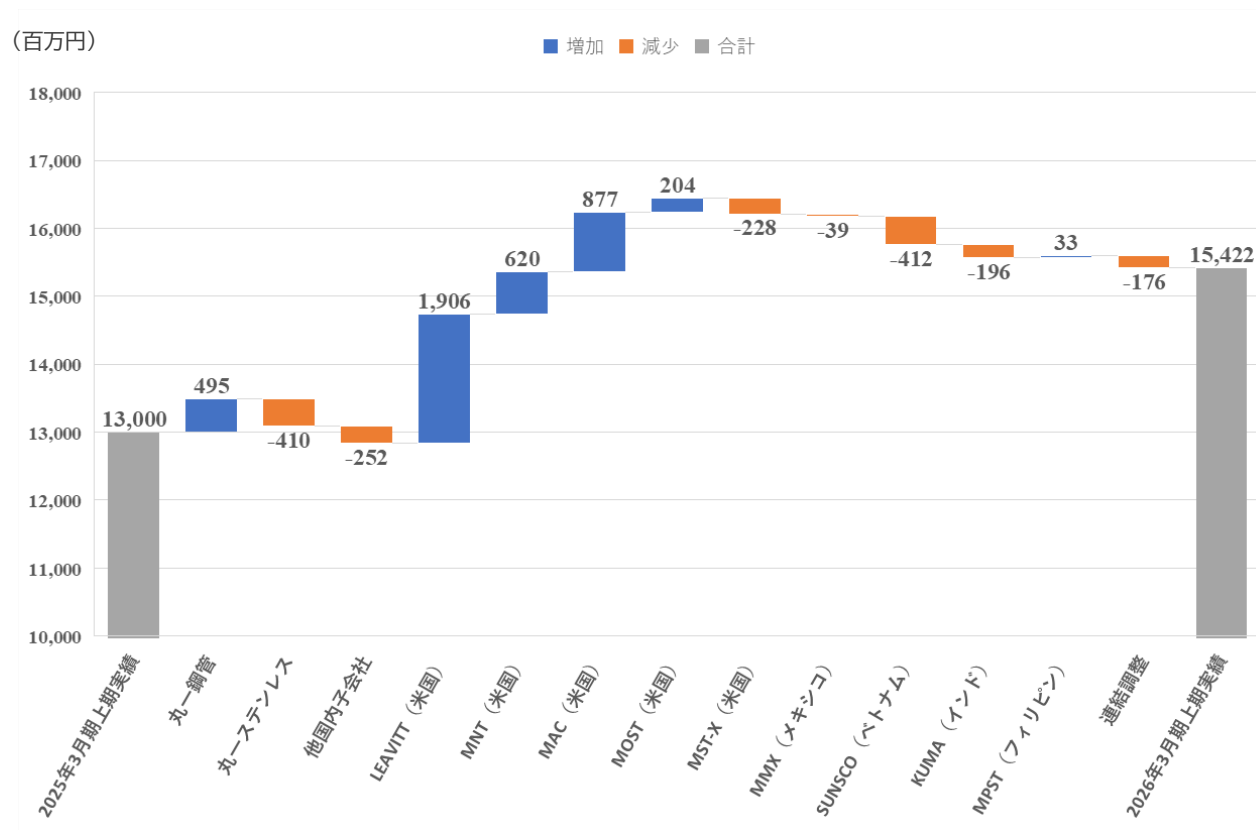
(単位:百万円)

個社	売上高						営業利益						概要
	25/3 上期実績 (a)	26/3 上期実績 (b)	前年同期 増減額 (b-a)	前年同期比 (%) (b/a-1)	26/3 上期計画 (c)	計画比 (%) (b/c-1)	25/3 上期実績 (a)	26/3 上期実績 (b)	前年同期 増減額 (b-a)	前年同期比 (%) (b/a-1)	26/3 上期計画 (c)	計画比 (%) (b/c-1)	
丸一鋼管	59,649	55,538	-4,111	-6.9%	61,599	-9.8%	8,216	8,711	495	6.0%	9,388	-7.2%	・スプレッドは上昇したものの販売数量の減少および販売単価の下落により減収増益
丸一ステンレス	12,707	12,091	-616	-4.8%	12,977	-6.8%	1,046	636	-410	-39.2%	880	-27.7%	・ステンレス管の利益率悪化、半導体向けBA管の高付加価値製品比率低下により減収減益
その他国内子会社	6,790	6,475	-315	-4.6%	6,579	-1.6%	847	595	-252	-29.8%	816	-27.1%	・アルファメタルは減収減益 東洋特殊鋼業は減収増益
LEAVITT(北米)	11,701	10,235	-1,466	-12.5%	10,409	-1.7%	-1,119	787	1,906	—	680	15.7%	・販売数量の微減少(▲0.8%)により減収となったが、利益はV字回復し黒字転換
MNT(北米)	1,907	1,793	-114	-6.0%	1,876	-4.4%	-528	92	620	—	32	187.5%	・販売数量を維持し、利益も回復し増益
MAC(北米)	8,062	8,548	486	6.0%	7,571	12.9%	924	1,801	877	94.9%	1,207	49.2%	・販売数量も増加(+13.5%)し増収増益。利益は2倍弱に拡大
MOST(北米)	4,054	3,576	-478	-11.8%	3,642	-1.8%	47	251	204	434.0%	193	30.1%	・販売数量は微減少(▲0.6%)により減収となったが、増益を確保
MST-X(北米)	0	259	259	—	216	19.9%	-94	-322	-228	—	-401	—	・半導体向けBA管の需要回復遅れ
MMX(メキシコ)	3,430	3,092	-338	-9.9%	2,969	4.1%	971	932	-39	-4.0%	828	12.6%	・減収減益となったが計画を上回る進捗結果。関税の影響は軽微
SUNSCO(ベトナム)	20,250	14,236	-6,014	-29.7%	14,091	1.0%	1,453	1,041	-412	-28.4%	920	13.2%	・ホーチミンは米国のADにより鋼板の輸出がストップとなり減収減益。二輪車を主とするハノイは減収増益
KUMA(インド)	6,480	6,268	-212	-3.3%	6,738	-7.0%	574	378	-196	-34.1%	528	-28.4%	・販売数量は増加(+10.2%)したものの、販売単価の下落により減収減益
MPST(フィリピン)	1,309	1,447	138	10.5%	1,332	8.6%	408	441	33	8.1%	385	14.5%	・販売数量も好調(+20.0%)に推移し増収増益
連結調整	-2,833	-3,019	-186	—	-2,699	—	255	79	-176	—	244	—	
合計	133,506	120,539	-12,967	-9.7%	127,300	-5.3%	13,000	15,422	2,422	18.6%	15,700	-1.8%	

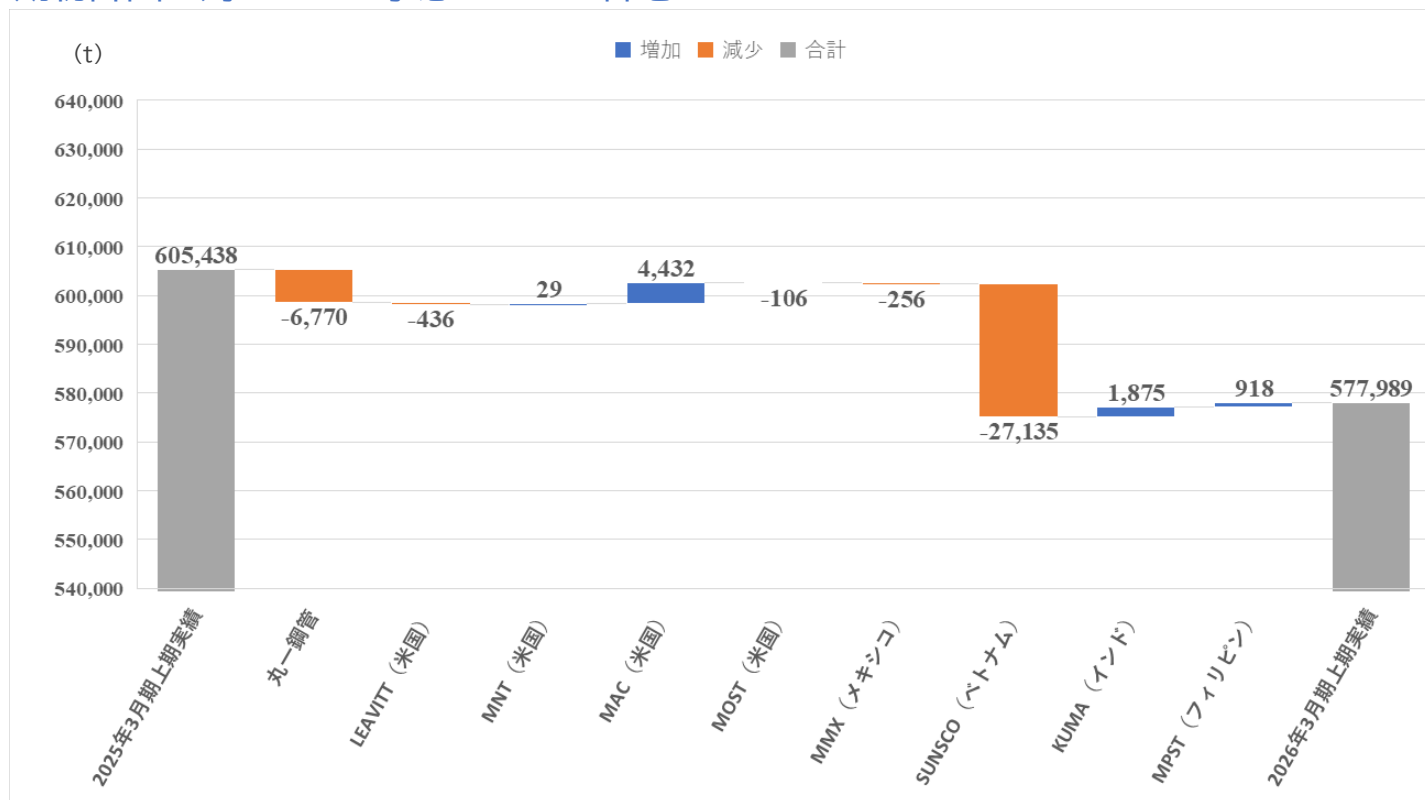
*計画は2025年5月9日開示

*業績詳細データ等を参照

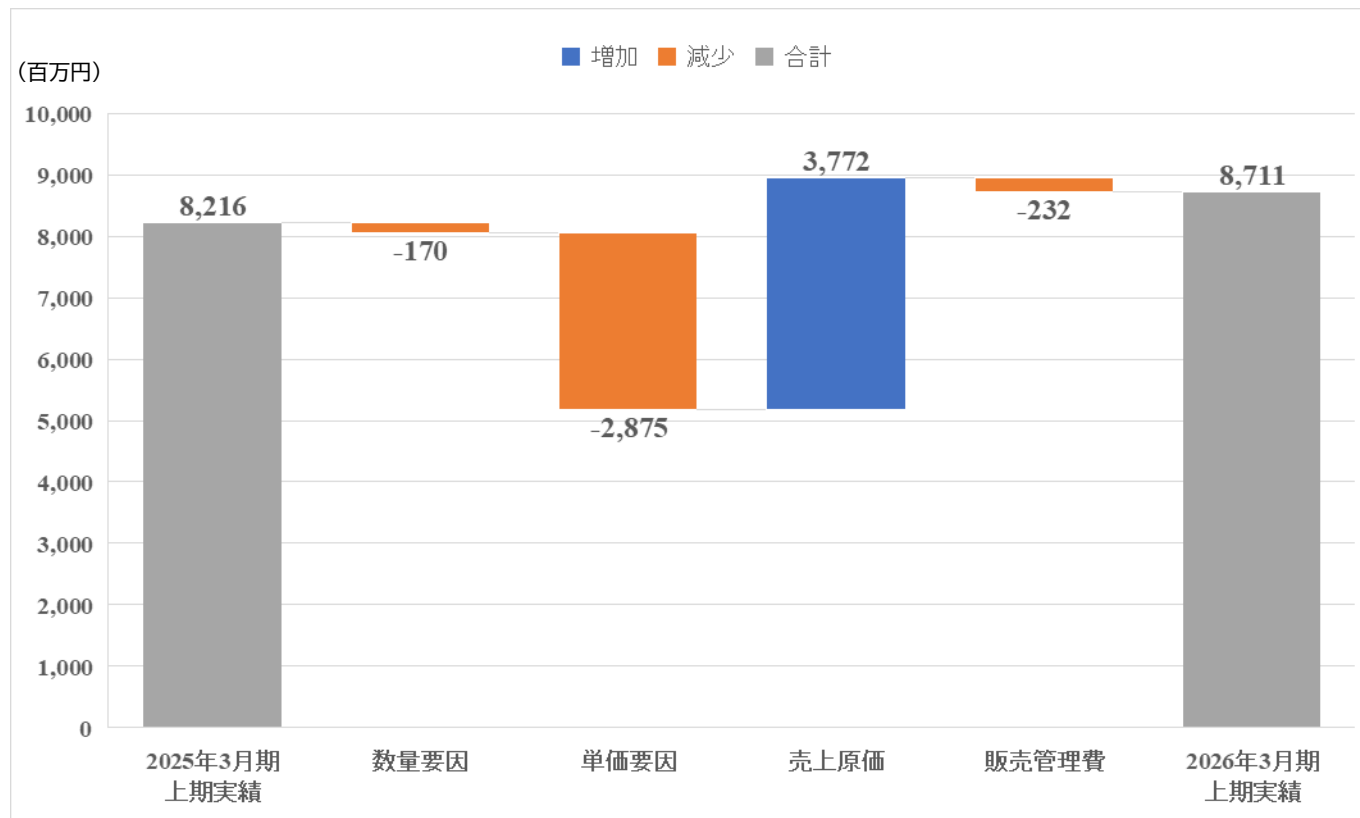
➤ 丸一鋼管単体のスプレッド拡大と米国主要4社の回復により増益



- SUNSCOは、米国向け鋼板輸出がADによりストップしたことで販売数量は大幅減少となったが、期初計画に対してほぼ予想どおりに着地



➤ スプレッド拡大が増益に寄与



日本

丸一鋼管/丸一鋼販

- 丸一鋼管単体の販売数量は、需要低迷により上期前年同期比▲2.1%と減少したが、スプレッドは改善に努め増益に寄与。下期は前年度を上回る販売数量を目指す(通期でも前年比増を目指す)
- 国内自動車生産台数は、メーカーにより違いはあるものの、関税の影響は見られず堅調に推移、下期は生産台数が増加する見通し。住宅関係、中小建築案件は、人手不足による工事の先送り等により引き続き低調
- データーセンター物件、国土強靱化工事等を重点営業分野と位置づけ、グループ会社一体となり戦略的に取り組む。丸一鋼販においては、ターゲットを絞りユーザー取引の新規獲得と既存取引先のシェアアップによる販売数量増に注力。
また、浜松加工センターに最新鋭のドイツ製切断加工機を追加導入(8月より稼働)。自動車向け鋼管の切断能力を強化し、更なる需要捕捉に注力

丸一ステンレス鋼管(MST)

- 半導体関連は、新設工事の需要は引き続き低調、下期は韓国、中国向けスポット案件の取り込みなどにより数量増を目指すも新設工事の本格回復はもう少し先になる見通し。また、Valex社の国内代理店としてEP管や継手類等を取り扱う販売会社・METALEX社の全株式を取得(2025.11.7.開示)。これによりEP管の商権を取り込み、同社販売網を通じて国内での半導体用配管の販売を整備・強化
- ステンレス管は、造船向けを除いて需要は低迷し問屋向けの出荷量減少が続いた。一方、2026年度石油化学プラントの定修案件やゴミ焼却施設の取替工事案件等の引合が出てきており、取込みを強化中

北米

LEAVITT/MNT(中西部)

- (LVT) CRU上昇により、スプレッドが改善し2Qは営業利益率10%以上確保。製造コスト削減、生産性改善、歩留まり向上による収益力強化を推進中
- (MNT) 25年5月にスリッター稼働開始。スリットコイル購入から原コイル購入への切り替え完了。在庫圧縮・納期短縮・コスト削減に寄与

MAC/MOST(西海岸)

- CRUが4月に\$944/STから6月に\$847/STと\$100/ST程度下落したことから、スプレッドに悪影響が出ることを懸念したが、販売価格の維持に努めスプレッド圧縮を食い止めた
- 販売数量はMAC/MOSTともに2Qは高いレベルを維持。スプレッドの維持もあり予想を上回る利益を計上

MST-X(テキサス)

- 半導体需要低迷による販売数量減のリカバリー策として、半導体以外のOil&Gas、自動車向けのBA管の拡販を推進中。同用途の生産に必要な検査機器や印字機は26年2月に設置完了予定
- 赤字額縮小のために、受注量に即した人員配置、材料、副資材の最適調達などを徹底中。鉄鋼アルミ関税、相互関税によるコスト上昇は、顧客と交渉し販売価格に転嫁することで合意済

MMX(メキシコ)

- 2Qのメキシコ自動車生産台数は103万台、前年同期比▲3.3%減
- モンテレイ新工場は2026年春の稼働に向け設備の据え付けを開始。同工場では自動車用鋼管に加え、バギー、農業、建材分野においても新規顧客を開拓中

アジア

SUNSCO(ベトナム)

- 輸出鋼板の米国向け大幅減少を受けた一方、利益率の高いパイプは米国向けで数量がプラスとなり利益を確保。国内は営業力と商品開発力を強化し、鋼板・パイプともに新規需要を開拓中
- 政府によるガソリンバイク規制強化をきっかけに二輪車のEVシフトが加速。二輪車向けを主力とするハノイは、EVメーカー・VinFastからの受注もあり堅調に推移

KUMA(インド)

- 9月22日から施行されたサービス税減税に伴う需要増を見越した生産積み増しや堅調な需要により、2Q生産台数は、前年同期比で二輪車+10.6%、四輪車+4.2%、商用車+8.5%増。販売も好調を維持
- 生産台数増で販売数量は増加したものの、顧客の意向でスプレッドの低い現地材の原材料への切替が進んだ事で営業利益率は低下。営業利益率の改善を図るべく、販売価格見直し、生産コスト削減等を推進

MPST(フィリピン)

- 2Qの二輪生産台数は36.1万台、前年同期比+5.6%増、二輪販売台数は46.3万台で+10.8%増
- 自動車向け拡販に着手し、新たに新規アイテムを受注。更なる新規部品分野の案件にも引き続き注力

Ⅲ. 足元の事業環境認識

国内

鋼板類

- 国内需要は、データセンター、物流倉庫の需要は引き続き堅調であるが、自動車、建設、家電などの下流産業が伸び悩んでおり、鋼板需要は軟調。需要の弱さと安価な輸入材の流入により、原材料・電力・燃料・物流コスト・労務費などのコスト上昇分の価格転嫁も厳しい状況
- 溶融亜鉛メッキ鋼板のAD調査が開始されたが、輸入材の前倒し発注などで安価な輸入材が増加傾向にあり、国内高炉・鋼板メーカーが物件対応などでより対抗している事で競争は激化。厳しい状況が続くが、関税適用が見込まれる来年以降の市況改善に期待

鋼管類

- 建築関連・・・中径杭は比較的好調であったが、8月以降は物件も少なく、下期の物件も先行き不透明
コンクリートパイルや輸入材を使用している杭メーカーの攻勢もあり、受注数量は減少
一般構造用炭素鋼(STK)は、建築案件が特に悪く、店売り品の荷動きは低位横バイ
ホームセンター向けの足場は昨年より若干増加
一般構造用角形鋼管(STKR)は、荷動きは低位横ばい。物流倉庫関連の案件に期待
コラムは、中小物件の案件が少ないことから荷動きは低調
- 物流倉庫関連・・・今期は、小型案件がいくつか出てきている程度で大型案件は来年度になる状況
データセンターの物件には期待
- 自動車関連・・・下期は生産台数の増加を見込む
- 造船関連・・・造船各社が一定の仕事量を確保。2028年迄は山積みが高く、堅調に推移

海外

北米

- 232条等セーフガードやダンピングによるコスト上昇は市場に浸透、先行きの不透明感も払拭され市況は比較的落ち着いている状況、今後は金利動向やドル相場など経済ファンダメンタルズによる鉄鋼市場への影響の方が大きくなると想定
- CRU価格は3月に\$949/ST (\$1,066/MT) でピークを形成し、その後7月に一旦持ち直すも傾向的にはギリ貧で足元\$810/ST (\$893/MT)。通常10月-12月は市況は減速するが、今年はこれ以上の先安感はなく、市場の大方はこのまま年末まで横ばいと予想

ベトナム

- 3Qの実質GDP成長率は+8.23%と2Q(4-6月改定値)の+8.19%から伸び率が加速
最大の輸出国である米国向け輸出は、8月の相互関税導入後、一部縫製品などで落ち込みが顕著だが、除外品のコンピューター、電子製品などの輸出に支えられ、全体的としての減少幅は小幅にとどまっている
- HRC市況は7月をボトムに反転するも、ボトムから20ドル/トン程度上昇したのみで横ばいが続く。
中国HRC材のAD税率が23%以上で決定したものの、依然として輸出用途やAD逃れの超広幅材の流入により安価な中国材が輸入全体の半分を占めており、市況上昇の足かせとなっている

IV. 2026年3月期業績見通しの修正

➤ 上期業績と下期の需要の厳しさ等を踏まえ修正

(単位:百万円)

連結	2025年3月期実績			2026年3月期				<参考>	
	上期	下期	通期 (a)	上期実績	修正下期計画	修正通期計画 (b)	前年比 (b/a-1)	期初通期計画 (c)	増減額 (b-c)
売上高	133,506	128,143	261,649	120,539	124,461	245,000	-6.4%	263,900	-18,900
営業利益	13,000	9,918	22,918	15,422	16,978	32,400	41.4%	33,600	-1,200
経常利益	14,663	11,983	26,646	16,681	17,619	34,300	28.7%	35,500	-1,200
親会社株主に 帰属する 当期純利益	7,369	19,664	27,033	10,690	11,510	22,200	-17.9%	23,400	-1,200

セグメント別業績見通し修正(売上高・営業利益)

O1×100

(単位:百万円)

売上高	2025年3月期実績					2026年3月期					前年 増減額	前年比 (%)	前年 増減額	前年比 (%)	<参考>	
	1Q	2Q	上期 (a)	下期	通期 (b)	1Q実績	2Q実績	上期実績 (c)	修正 下期計画	修正 通期計画 (d)	上期 (c-a)	上期 (c/a-1)	修正 通期計画 (d-b)	修正 通期計画 (d/b-1)	期初 通期計画 (e)	増減額 (d-e)
日本	38,635	38,233	76,868	78,281	155,149	35,518	36,084	71,602	75,475	147,077	-5,266	-6.9%	-8,072	-5.2%	160,610	-13,533
北米	15,284	13,985	29,269	22,441	51,710	13,915	13,708	27,623	25,088	52,711	-1,646	-5.6%	1,001	1.9%	54,674	-1,963
アジア	13,592	13,776	27,368	27,421	54,789	10,283	11,030	21,313	23,899	45,212	-6,055	-22.1%	-9,577	-17.5%	48,616	-3,404
合計	67,512	65,994	133,506	128,143	261,649	59,717	60,822	120,539	124,461	245,000	-12,967	-9.7%	-16,649	-6.4%	263,900	-18,900

営業利益	2025年3月期実績					2026年3月期					前年 増減額	前年比 (%)	前年 増減額	前年比 (%)	<参考>	
	1Q	2Q	上期 (a)	下期	通期 (b)	1Q実績	2Q実績	上期実績 (c)	修正 下期計画	修正 通期計画 (d)	上期 (c-a)	上期 (c/a-1)	修正 通期計画 (d-b)	修正 通期計画 (d/b-1)	期初 通期計画 (e)	増減額 (d-e)
日本	5,205	5,056	10,261	9,302	19,563	4,704	5,276	9,980	12,687	22,667	-280	-2.7%	3,104	15.9%	23,640	-973
北米	1,752	-1,647	105	-1,616	-1,511	1,001	2,359	3,360	2,060	5,420	3,255	3087.9%	6,931	—	5,166	254
アジア	1,194	1,229	2,423	2,028	4,451	856	964	1,820	2,201	4,021	-603	-24.9%	-430	-9.7%	4,248	-227
調整額	133	78	210	204	414	132	127	259	33	292	49	—	-122	—	546	-254
合計	8,286	4,714	13,000	9,918	22,918	6,694	8,728	15,422	16,978	32,400	2,422	18.6%	9,482	41.4%	33,600	-1,200

*修正通期計画は2025年11月10日開示

個社別業績見通し修正(売上高)

O1×100

(単位:百万円)

個社	売上高															
	2025年3月期実績								2026年3月期							
	1Q	2Q	上期 (a)	3Q	4Q	下期	通期 (b)	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績 (c)	修正 下期計画	修正 通期計画 (d)	上期前年 増減額 (c-a)	上期前年 同期比(%) (c/a-1)	修正通期 前年増減額 (d-b)	修正通期 同期比(%) (d/b-1)
丸一鋼管	30,129	29,520	59,649	30,459	28,735	59,194	118,843	27,906	27,632	55,538	58,611	114,149	-4,111	-6.9%	-4,694	-3.9%
丸一ステンレス	6,296	6,411	12,707	6,230	7,497	13,727	26,434	5,745	6,346	12,091	13,695	25,786	-616	-4.8%	-648	-2.5%
その他国内子会社	3,493	3,297	6,790	3,379	3,211	6,590	13,380	3,150	3,325	6,475	6,700	13,175	-315	-4.6%	-205	-1.5%
LEAVITT(北米)	6,144	5,557	11,701	4,467	3,890	8,357	20,058	5,225	5,010	10,235	8,889	19,124	-1,466	-12.5%	-934	-4.7%
MNT(北米)	947	960	1,907	959	822	1,781	3,688	1,016	777	1,793	2,130	3,923	-114	-6.0%	235	6.4%
MAC(北米)	4,303	3,759	8,062	3,444	3,032	6,476	14,538	4,027	4,521	8,548	7,409	15,957	486	6.0%	1,419	9.8%
MOST(北米)	2,230	1,824	4,054	1,303	1,229	2,532	6,586	1,880	1,696	3,576	3,644	7,220	-478	-11.8%	634	9.6%
MST-X(北米)	0	0	0	2	4	6	6	44	215	259	59	318	259	—	312	—
MMX(メキシコ)	1,655	1,775	3,430	1,644	1,420	3,064	6,494	1,621	1,471	3,092	3,077	6,169	-338	-9.9%	-325	-5.0%
SUNSCO(ベトナム)*	9,946	10,304	20,250	10,193	9,857	20,050	40,300	6,867	7,369	14,236	15,266	29,502	-6,014	-29.7%	-10,798	-26.8%
KUMA(インド)	3,363	3,117	6,480	3,080	3,479	6,559	13,039	3,046	3,222	6,268	6,577	12,845	-212	-3.3%	-194	-1.5%
MPST(フィリピン)	608	701	1,309	750	719	1,469	2,778	704	743	1,447	1,418	2,865	138	10.5%	87	3.1%
連結調整	-1,602	-1,231	-2,833	-572	-1,090	-1,662	-4,495	-1,514	-1,505	-3,019	-3,014	-6,033	-186	—	-1,538	—
合計	67,512	65,994	133,506	65,338	62,805	128,143	261,649	59,717	60,822	120,539	124,461	245,000	-12,967	-9.7%	-16,649	-6.4%

*修正通期計画は2025年11月10日開示

*SUNSCOはホーチミンとハノイの合算

個社別業績見通し修正(営業利益)

O1×100

(単位:百万円)

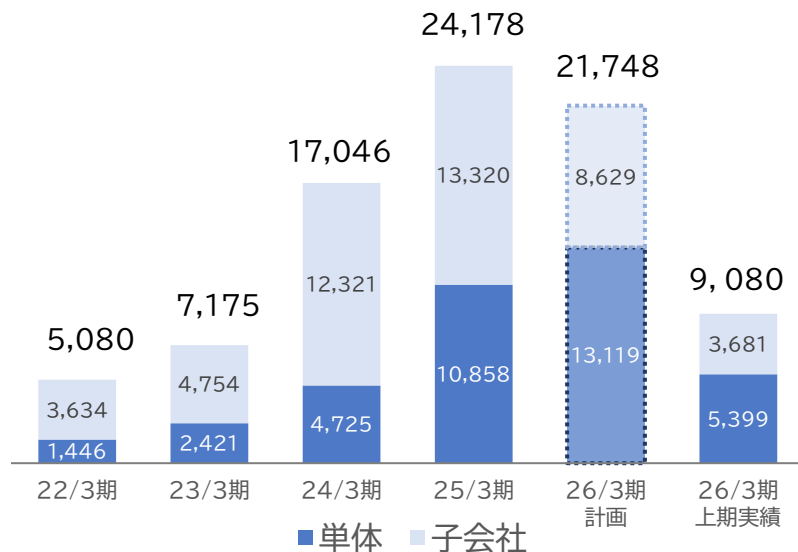
個社	営業利益															
	2025年3月期実績							2026年3月期								
	1Q	2Q	上期 (a)	3Q	4Q	下期	通期 (b)	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績 (c)	修正 下期計画	修正 通期計画 (d)	上期前年 増減額 (c-a)	上期前年 同期比(%) (c/a-1)	修正通期 前年増減額 (d-b)	修正通期 同期比(%) (d/b-1)
丸一鋼管	4,125	4,091	8,216	3,288	3,915	7,203	15,419	4,212	4,499	8,711	10,583	19,294	495	6.0%	3,875	25.1%
丸一ステンレス	407	639	1,046	456	1,014	1,470	2,516	122	514	636	1,364	2,000	-410	-39.2%	-516	-20.5%
その他国内子会社	515	332	847	204	166	370	1,217	353	242	595	778	1,373	-252	-29.8%	156	12.8%
LEAVITT(北米)	420	-1,539	-1,119	-744	-688	-1,432	-2,551	79	708	787	70	857	1,906	—	3,408	—
MNT(北米)	68	-596	-528	-92	-116	-208	-736	-11	103	92	55	147	620	—	883	—
MAC(北米)	742	182	924	96	388	484	1,408	639	1,162	1,801	931	2,732	877	94.9%	1,324	94.0%
MOST(北米)	157	-110	47	-89	-421	-510	-463	47	204	251	132	383	204	434.0%	846	—
MST-X(北米)	-62	-32	-94	-25	-599	-624	-718	-170	-152	-322	-265	-587	-228	—	131	—
MMX(メキシコ)	491	480	971	411	297	708	1,679	458	474	932	956	1,888	-39	-4.0%	209	12.4%
SUNSCO(ベトナム)*	704	749	1,453	348	639	987	2,440	450	591	1,041	1,302	2,343	-412	-28.4%	-97	-4.0%
KUMA(インド)	304	270	574	269	283	552	1,126	187	191	378	512	890	-196	-34.1%	-236	-21.0%
MPST(フィリピン)	193	215	408	269	233	502	910	219	222	441	347	788	33	8.1%	-122	-13.4%
連結調整	222	33	255	334	82	416	671	109	-30	79	213	292	-176	—	-379	—
合計	8,286	4,714	13,000	4,725	5,193	9,918	22,918	6,694	8,728	15,422	16,978	32,400	2,422	18.6%	9,482	41.4%

*修正通期計画は2025年11月10日開示

*SUNSCOはホーチミンとハノイの合算

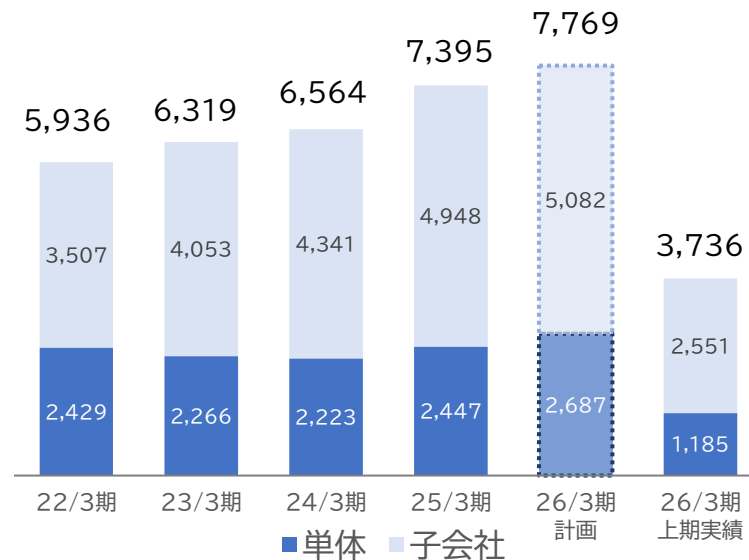
設備投資額

(単位:百万円)



減価償却費

(単位:百万円)



- 設備投資額は下期に65%を計画していたため、ほぼ計画どおりに進捗

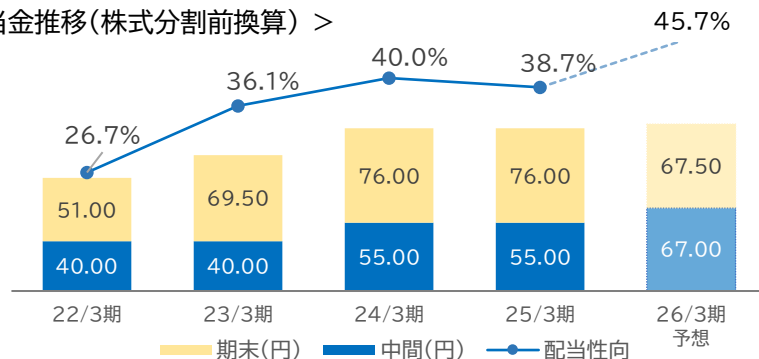
- 減価償却は計画どおりに進捗

■ 配当金

- 修正通期計画の当期純利益は、期初通期計画より12億円の減額修正となるが、配当額は維持(配当性向45.7%)
前年度と比較すると株式分割前換算で3.5円/株の増額
(2025年11月10日開示)
- 中長期的な企業価値向上のため、株式分割による投資単位金額の引き下げにより、株式の市場流動性の向上を図ることを目的に、1株につき3株割合の株式分割を実施
(2025年7月7日開示 効力発生日2025年10月1日)

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
修正予想	67円00銭	22 円50銭	(-)
(株式分割前換算)	(-)	(67円50銭)	(134円50銭)

<配当金推移(株式分割前換算)>



■ 自己株式の取得

- 取得価格の総額を200億円を上限として、2025年6月20日までに自己株式の取得を実施(2024年12月6日開示)
累計約170億円分の自己株式を取得(終了)
- 2025年6月23日から2026年3月31日において、取得価格の総額を120億円:株式総数900万株(分割後)を上限として、自己株式の追加取得を決定(2025年5月9日開示)

<取得状況>

- 2025年10月31日までに取得した自己株式の累計

(1)取得した株式の総数 300万株(約定ベース)
(2)株式の取得価額の総額 38.2億円

- 自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による自己株式の買付けに関するお知らせ(2025年11月10日開示)

(1)取得対象株式の種類 当社普通株式
(2)取得し得る株式の総数 350万株(上限)



当社グループは、すべてのステークホルダーの皆様との対話を大切にし、皆様に必要とされる企業グループとなることを目指す一環として統合報告書を発行しております
是非、ご覧いただけますようお願いいたします

統合報告書2025【日本語版】

統合報告書2025【英語版】

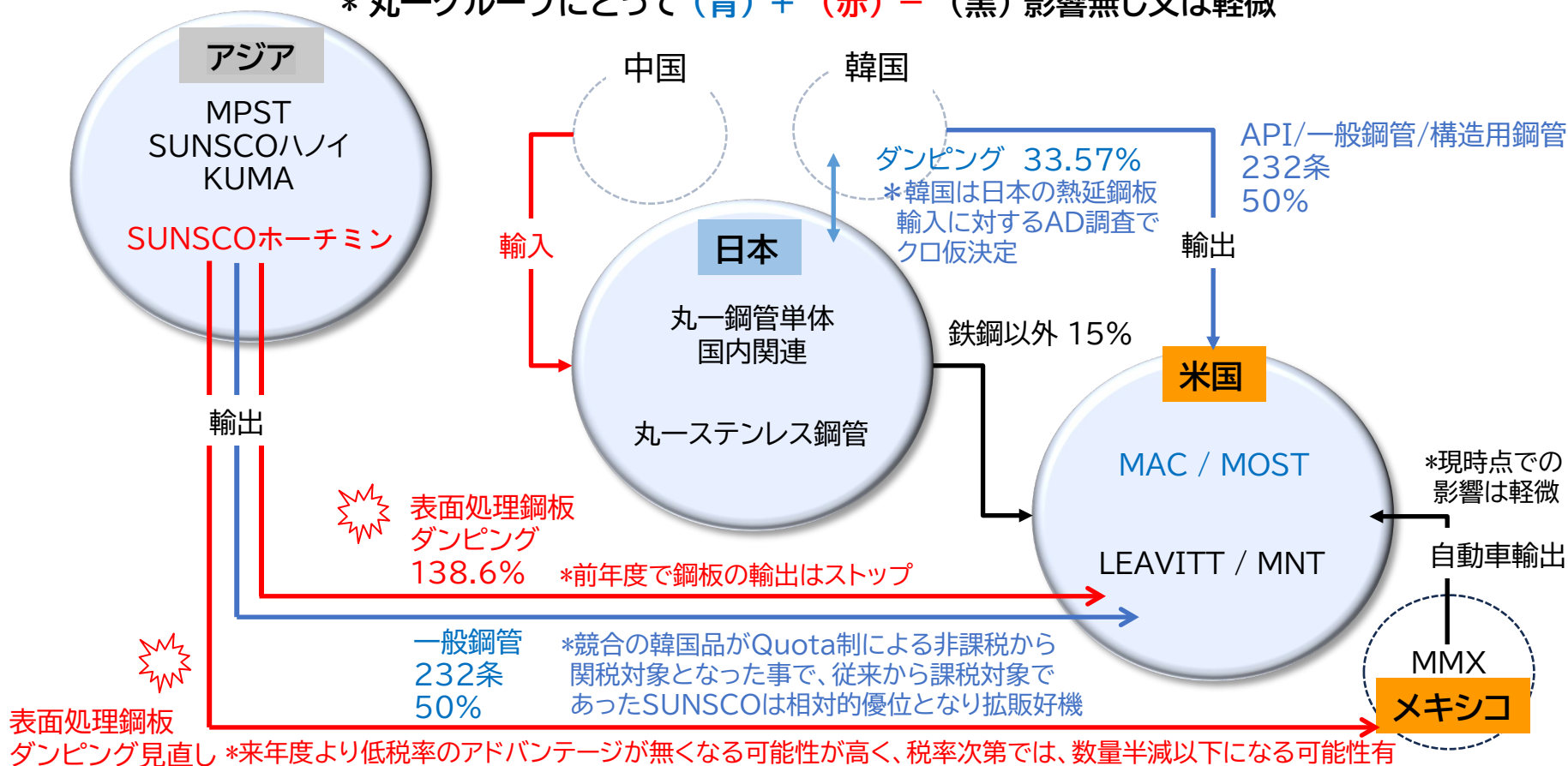
<参考>業績詳細データ等

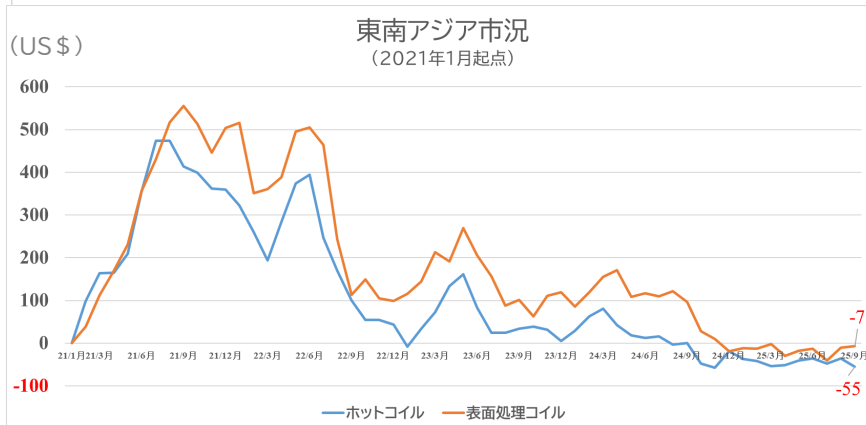
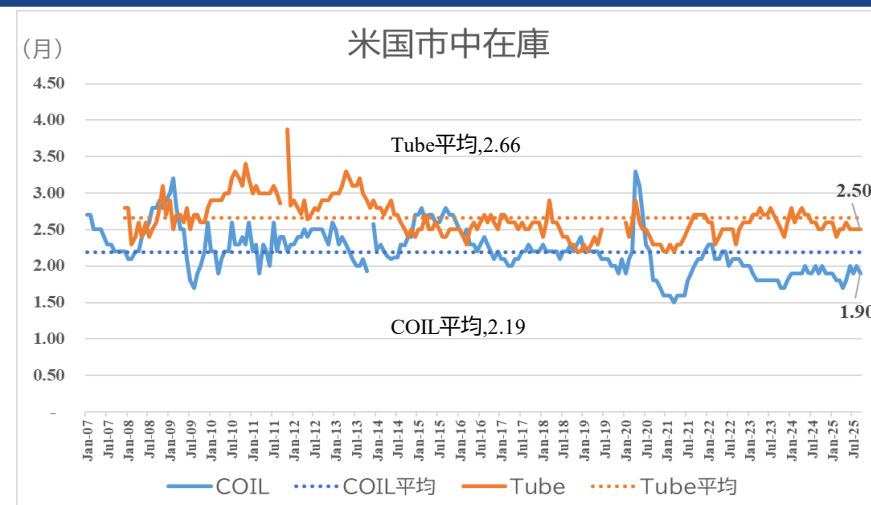
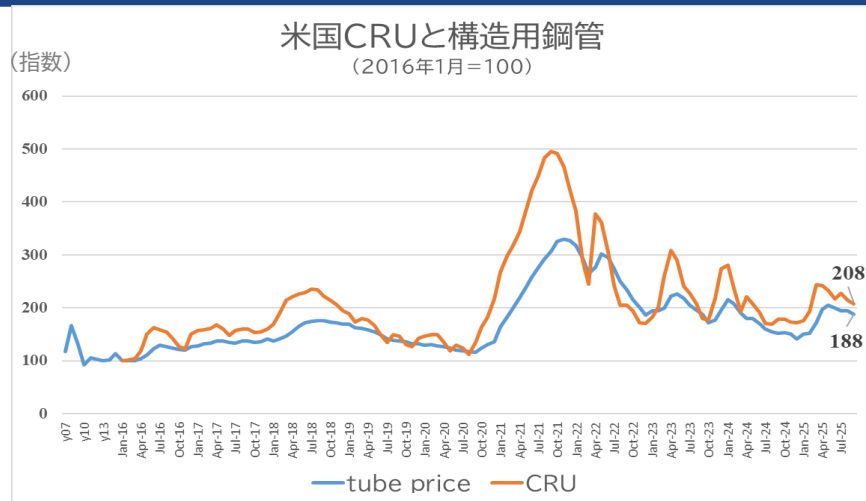
(単位:t)

販売数量		2025年3月期実績							2026年3月期実績				
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	前年 増減	前年同期比 (%)
丸一鋼管	建築構造用	96,335	89,746	186,081	93,640	86,935	180,575	366,656	93,397	87,962	181,359	-4,722	-2.5%
	機械構造用	33,455	32,187	65,642	34,006	33,652	67,658	133,300	32,228	31,667	63,895	-1,747	-2.7%
	その他	36,404	38,320	74,724	37,973	39,367	77,340	152,064	36,757	37,667	74,424	-300	-0.4%
	小計	166,194	160,253	326,447	165,620	159,953	325,573	652,020	162,381	157,296	319,677	-6,770	-2.1%
米国(4社)	LEAVITT	28,942	28,883	57,825	28,406	24,454	52,860	110,685	31,958	25,431	57,389	-436	-0.8%
	MNT	4,773	5,687	10,460	7,163	6,404	13,567	24,027	6,457	4,032	10,489	29	0.3%
	MAC	16,936	15,839	32,775	16,507	14,576	31,083	63,857	18,899	18,308	37,207	4,432	13.5%
	MOST	9,257	7,961	17,218	6,626	6,310	12,936	30,154	9,646	7,466	17,112	-106	-0.6%
	小計	59,908	58,370	118,278	58,702	51,744	110,446	228,723	66,960	55,237	122,197	3,919	3.3%
MMX(メキシコ)		4,329	4,338	8,667	4,358	3,807	8,165	16,832	4,257	4,154	8,411	-256	-3.0%
SUNSCO(ベトナム)		65,285	63,875	129,160	68,906	66,926	135,832	264,992	47,555	54,470	102,025	-27,135	-21.0%
KUMA(インド)		9,157	9,141	18,298	8,852	10,356	19,208	37,506	9,628	10,545	20,173	1,875	10.1%
MPST(フィリピン)		2,158	2,431	4,589	2,656	2,482	5,138	9,727	2,633	2,873	5,506	918	20.0%
合計		307,030	298,408	605,438	309,094	295,268	604,362	1,209,800	293,414	284,575	577,989	-27,449	-4.5%

*SUNSCOはホーチミンとハノイの合算

* 丸グループにとって (青) + (赤) - (黒) 影響無し又は軽微





Maruichi Stainless Tube Texas Corporation (MST-X)
2025年2月より商用稼働



KUMA(インド)グジャラート工場
2インチミル生産設備を導入 2025年4月より稼働



ヌエボ・レオン州モンテレイ MMX(メキシコ)
第2工場 2026年春稼働予定



MPST(フィリピン)倉庫棟
既存工場に2インチミルを増設 2026年1月稼働



将来予測に関する免責事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります